

吉林省最大の口岸都市－琿春

中国共産党琿春市委員会副書記

彭樹海

琿春市は図們江下流の中国・ロシア・朝鮮三国の境が交差している地点に位置し、面積は 5149 平方キロメートル、国境地域、民族地域のステータスを有する口岸（通関ポイント）都市であり、特徴のある「五大優位」を持っている。一つは独特の地理的な優位である。琿春は三国と接して五ヶ国とつながっており、琿春市防川風景名勝区から図們江にそって日本海までわずか 15 キロ、中国の北東アジアへの窓口でありユーラシアランドブリッジの出発点の一つである。また、鉄道と海運の複合一貫輸送を通じて、海運ではロシア・朝鮮・韓国の東海岸、日本の西海岸および北米、北欧まで最も近い場所で、中国の「一帯一路」の重要なハブ都市および中国－モンゴル－ロシア経済回廊の北へ向けた開放の新しい起点でもある。二つ目は、独特の生態的な条件の優位である。琿春の森林カバー率は 86%という高さに達し、空気の質も全国の上位に位置し、夏季の平均気温は 22 度を超えない。三つ目は、独特の資源的な条件の優位である。琿春市内には吉林省内第 2 位の金埋蔵地帯とアジアのタングステン鉱石埋蔵地帯が分布していて、一人当たりの水資源占有量は中国の平均レベルの 5 倍である。周辺国家の鉱物・木材資源も豊富で、開発の前途が広がっている。四つ目は、独特の政策的な条件の優位である。琿春は国際協力示範区、国境経済協力区、輸出加工区、中口互市貿易区（国境地域で個人が行う商品売買）であると同時に、国境地域開放、東北振興、国境地域の民族、西部大開発という四大政策の恩恵を受けている。五つ目は、独特の人文的な条件の優位である。琿春には多様な民族文化がある。少数民族は市の総人口の 46.8%を占めているため、豊富な多彩な民俗・風習がある。しかも国際的な文化が融合し、日本の境港市、韓国の浦項（ポハン）や束草（ソクチョ）市と友好都市関係を結んでいる。

琿春市は中国の国境地域の開発開放の最前線基地として、今後しばらくのあいだ、独特の「五大優位」を十分に発揮し、開発開放の各種業務を展開し、多くの投資者との協力やマッチングのプラットフォームをつくりあげ、名実ともに国際協力モデル区になるだろう。

魅力のある琿春はビジネスチャンスが無限にある。今日、琿春は好機を待ち、最後の頑張りを充分にみせ、改革やイノベーションを行って、開放を促進しているので、投資と開発のホットスポット、起業によって富を生み出す天国といえる。私たちは各界から多くの人が琿春に視察に訪れ、投資して業界を盛り立て、琿春で希望を広げ、さらなる輝きをめざし、友好の花を各地に咲かせていただきたいと思っている。

[ERINA にて翻訳]